マムズキャリー

MUM'S CARRY™

マムズキャリー ハーネスEX

取扱説明書 保証書付

ヨーロッパ規格適合品
ECE R44/04 適合
GROUP Ⅰ, GROUP Ⅱ, GROUP Ⅲ

UNIVERSAL
9-36KG

E9

ECE R44/04
042024

ご使用前には安全のために必ずお読み下さい。

1. 本装置はヨーロッパ規格に適合していますが、一部の車輌には取り付けできません。
2. 本装置は３点式巻取装置付座席ベルトを装備している座席にのみ使用できます。（２点式シートベルトの座席では使用できません。）
3. なお、ご不明な点は、お買い上げの販売店または、輸入元にお問い合わせください。

本製品をご使用いただけるお子様のめやす

チャイルドシート（グループⅠ）	ジュニアシート（グループⅡ）	ブースターシート（グループⅢ）
適用体重 9～18kg	適用体重 15～25kg	適用体重 22～36kg
車のシートベルトでチャイルドシートを固定、子供用ベルトでお子様を拘束します。	子供用ベルトを取外し車のシートベルトでお子様を拘束します。 座＆背付	背もたれを取外し座のみで使用します。
年齢の目安	年齢の目安	年齢の目安
1歳～4歳ころ	3歳～6歳ころ	5歳～10歳ころ

注）「年令のめやす」は、あくまでもめやすです。体重条件を満たしていないお子様はご使用になれません。
注）車輌進行方向に対し必ず前向きに取付けて下さい。（横向きや後向きでは取付けないで下さい。）

本書をよんでいただくためのポイントマークについて

警告
事故につながったり、生命の危険、重大な傷害の恐れがある事を記載しています。

注意
安全の為、注意していただきたい事を記載しています。

補足
より安全に、快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたい事を記載しています。

★左記のポイントマークは、安全に関する内容ですので必ず守っていただき本製品をご使用下さい。

カバーの洗濯について

座カバー、背カバー（大）、ヘッドレストカバー、肩ベルトパットの洗濯

座カバー

背カバー（大）

ヘッドレストカバー

肩ベルトパッド

・中性洗剤を使い手洗いして下さい。
・塩素系漂白剤は色落ちしますのでご使用にならないで下さい。
・風通しのよい日陰で干して下さい。
・しっかり乾くまでご使用にならないで下さい。
・アイロンがけはしないで下さい。

⚠注意

1．肩ベルトカバーは、金具が付いていますので金具を濡らさない様にカバーのみを手洗いして下さい。
2．本体背に取付いています背カバー（小）は、取外し不可です。
洗濯出来ませんので固く絞った濡れタオル等で汚れを拭き取って下さい。

マムズキャリーハーネス EX 保証書

＊お買い上げ時にお客様名、お買い上げ日、販売店をご記入下さい。
＊本保証書は再発行致しませんので紛失しないようにご注意下さい。

保証期間	お買い上げから１年間（保証規定による）
お買い上げ年月日	年　月　日
商品名	マムズキャリー　ハーネスEX
お客様	御住所　〒
	御名前 TEL
販売店	住所　〒
	販売店名 TEL

●品質上の為、予告なく仕様を一部変更する場合がありますのでご了承下さい。

株式会社 シーエー産商 本社：〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄５１
TEL：0568-28-5333 FAX：0568-28-5340

2012.4.15

1. ご利用にあたって

本装置は自動車事故の際に、お子様を衝撃から守ったり、衝撃を緩和する事を目的に開発された装置です。ただし、自動車事故などにおいて、必ずしもお子様を無傷でお守りする事が出来るわけではありません。
必ず説明書をお読み頂き、確実な取付け方法と合わせて、安全運転をお願い申し上げます。

警告

①本装置は説明書どおりに取付けてください。
②車のベルトの種類や座席の形状により、説明書通りに取付けできないときは、ご使用にならないで下さい。
③幼児用ベルトがたるんだ状態で使用しないで下さい。ベルトにゆるみがあると首に巻付き窒息する恐れがあります、必ず正しい長さでご使用下さい。
④ジュニアシートやブスターシートでご使用になる際、車のシートベルトにチャイルドシート固定機能付がある場合は、固定機能を解除してから取付けて下さい。
機能が作動しますとお子様がしめつけられ、危険です。
⑤背もたれのみでの使用はしないで下さい。
⑥衝突事故や装置を落とすなど強い衝撃を受けた場合はご使用にならないで下さい。
⑦装置にお子様が乗っていない場合でも車輌シートベルトで装置を固定して下さい。
⑧装置にお子様を乗せて使用される時はバックルを外さないで下さい。
⑨お子様が、バックルのプレスボタンを押しベルトを外したり、ベルトから抜け出ないように注意してください。時々タングプレートがバックルから外れていないことを確認して下さい。
⑩後部座席に人が乗る場合､2 ドア･3 ドアの助手席や 1BOX 等乗員の乗降口側には、緊急時の脱出時に支障となり危険ですので取付けないで下さい。
⑪車のシートベルトや装置のベルトを傷付けないように注意して下さい。
傷ついた場合衝撃時十分な効果がえられません。傷ついた場合は、ご使用にならないで下さい。
⑫走行中に装置の調整や操作をなさらないでください。一度車を止めてから行なって下さい。
⑬ご使用中に車のベルトがゆるむ事があります。時々確認してゆるくなった場合は再度取付け直して下さい。
⑭装置を助手席に取付けた時シフトノブやサイドブレーキに干渉する場合は、ご使用にならないでく下さい。運転の妨げになり危険です。
⑮エアバッグが装備されている座席ではご使用にならないでください。事故の際、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け危険です。

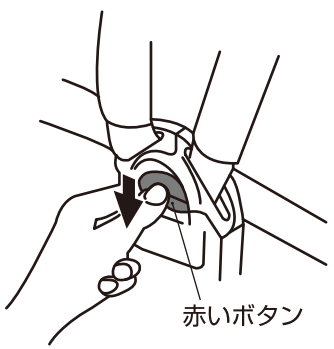
⑯装置のカバー・クッション材等外して使用しないでください。また改造などはしないでください。本来の効果が発揮できなく成ります。
⑰お子様を乗せセットできましたら再度腰ベルトで骨盤がしっかり拘束され、肩ベルトがゆるんでいないか確認して下さい。
⑱走行中お子様を、装置から降ろさないでください。急ブレーキや万一の時、お子様を支えきれなく危険です。
⑲走行中お子様が固いもの、鋭利なもの、おもちゃ等で衝突時危害を与えるものは持たせないで下さい。重大な傷害を受けるおそれがあります。
⑳お子様を装置に乗せたまま車内に放置しないでください。太陽光で車内が高温になり死亡につながる場合があります。
㉑お子様を乗せる際、装置が熱くなっていないことを確認してからお乗せ下さい。

注意

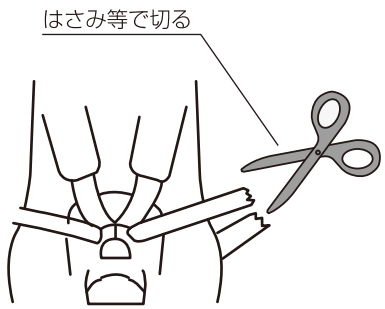
①装置は車専用ですので車以外での使用はしないで下さい。
②装置にお子様を乗せたまま車への取り付け・取り外しはしないでください。
③装置を屋外で放置しないでください。太陽光、雨などで機能を損ねる原因となる恐れがあります。
④装置から落ちる危険がありますので、装置の上で立ち上がったり、中腰にならないよう注意して下さい。
⑤装置に食べ物、飲み物をこぼさないようにして下さい。汚れや故障の原因となります。
⑥車のドアに装置を挟まないように取り付けて下さい。
⑦衝突時、荷物などでお子様がけがをしないよう近くに物を置かないで下さい。

緊急時のご対応について

緊急時には慌てず速やかにお子様を救出して下さい

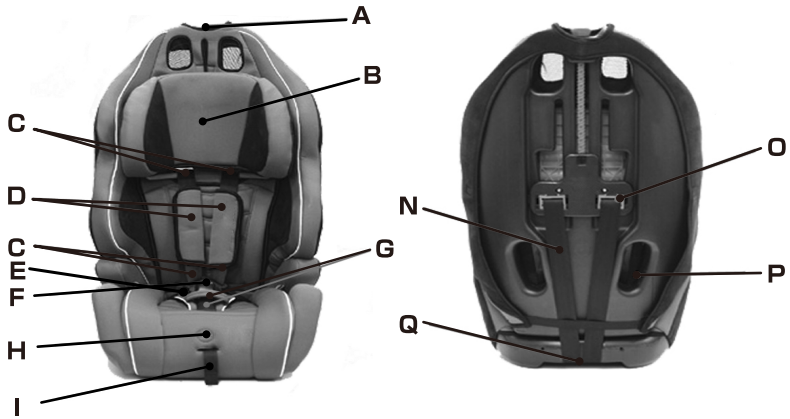


赤いボタンを指で押して、バックルからタングを離しお子様を降ろして下さい。



赤いボタンを押してもタングがはずれない場合は、チャイルドシートのベルトをさみ等で切ってお子様を降ろして下さい。

各部の名称

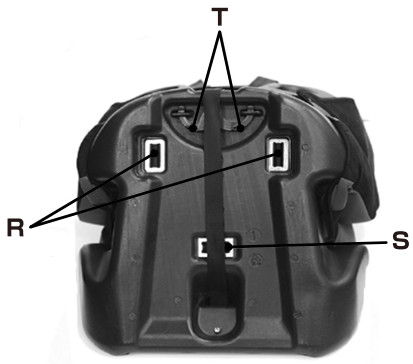


取扱説明書（保証書付き）

マムズキャリー
MUM'S CARRY.
マムズキャリーハーネス EX
取扱説明書 保証書付
UNIVERSAL 9-36KG
ECE R44/04 042024
ご使用には安全のために必ずお守りください。
チャイルドシート（ハーネス）
ジュニアシート（ハーネス）
ハーネスシート（ハーネス）
適用体重 9～18kg
適用体重 18～25kg
適用体重 22～36kg
年齢めやす 1歳～4歳ごろ
年齢めやす 3歳～6歳ごろ
年齢めやす 5歳～10歳ごろ
本書をよんでいただくためのポイントマークについて
警告
注意
補足

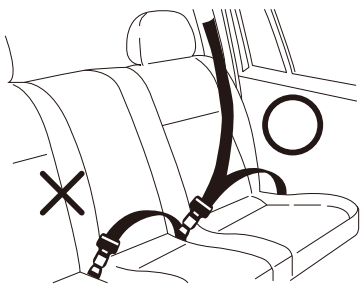
Ⓐヘッドクッション＆子供用肩ベルト調節ネジ
Ⓑヘッドレスト
Ⓒ肩ベルト
Ⓓ肩ベルトパット
Ⓔ腰ベルト
Ⓕバックル
Ⓖバックルパット
Ⓗベルト調節 PRESS
Ⓘ調節ストラップ
Ⓙ背もたれ
Ⓚ座
Ⓛ取り付けフック
Ⓜ腰ベルト通し穴
Ⓝ肩ベルト
Ⓞ肩ベルトパット止め金具
Ⓟチャイルドシート取り付穴
Ⓠベルト連結金具

各部の名称 底面



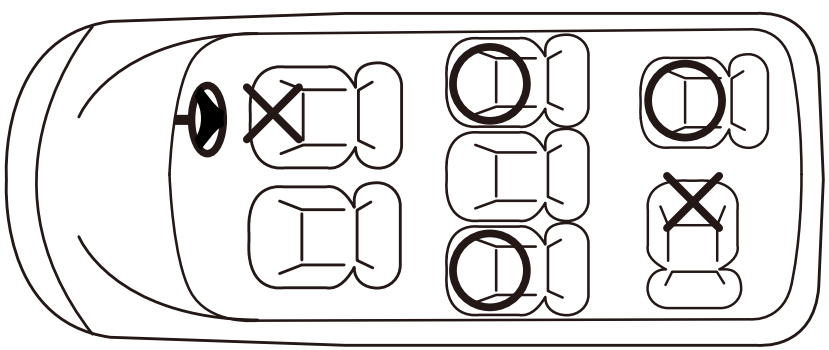
Ⓡ底面ベルト固定金具
Ⓢバックル止め金具
Ⓣ連結ストッパー

車輌取付け可能箇所

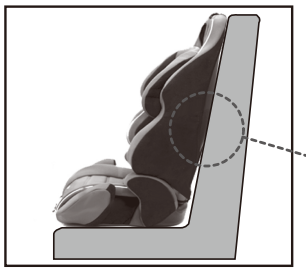


○取り付け可能　×取り付け不可

※助手席にエアバックが装備されている場合は、ご使用にならないで下さい。
事故の際、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け危険です。
※進行方向に対し後向き、横向きの座席には、取付けられません。
事故の際、装置の機能が有効に発揮できません。
※２点式シートベルトの座席では取付けられません。
※車両によっては取り付けできません。



チャイルドシート グループI（適用体重9～18kg）の取付



①車の座席に置き、装置の背と車の背もたれに隙間がないように接していること。

⚠注意

隙間が無いようにする

②装置を置いたとき、ぐらつきがなく安定していること。

③車のシートベルトとタングを図のようにチャイルド取り付穴に通します。

④③で通した、タングとベルトを背裏へ通し図のように子供用ベルトの外へくるようにします。

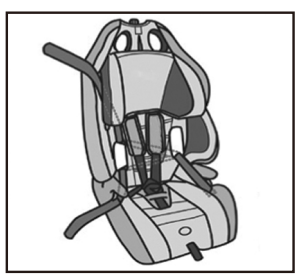
チャイルドシート グループI（適用体重9～18kg）の取付

⑤反対側のチャイルド取り付穴から出てきた車のシートベルトとタングを図のように引き出します。

⑥取り付穴から出てきたタングとベルトを装置の腰ベルト通し穴に確実に通し取り付フックにかかるようバックルにセットします。

⑦車の腰のベルトがピーンと張るように装置を車のシートに押し付け肩のベルトを引っ張り上げて固定してください。

※押し付ける際、装置座面を膝で体重をかけながら行うと便利です。



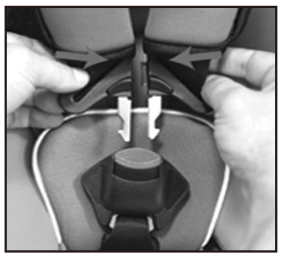
⑧装置の上部を前方に引っ張った際にぐらつきがなく大きな隙間ができないようにしっかり固定していること。

⃠警告

上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。
装置の機能が十分に発揮せず危険です。

ベルト調整

①装置バックルの中央の赤部分を下に押しタングをバックルから解除しお子様が座れるように装置タングを左右に開きバックルを前に倒します。



②お子様を座らせ左右の肩に肩ベルトをくぐらせ装置タングを真ん中に合わせます。

③タングをバックルに「**カチッ**」と音がするまで差し込みます。

警告

バックルとタングをセットした際「**カチッ**」と音がしたことを確認してください。

④ベルトのフィット具合が悪い場合は、再度 P8 のベルトの調整を参照に行ってください。

チャイルドシート グループI（適用体重9～18kg）の取付

子供用バックル・タングの使い方

①お子様の体に合った、位置でヘッドレストと肩ベルトの高さを調節ネジで合わせてください。

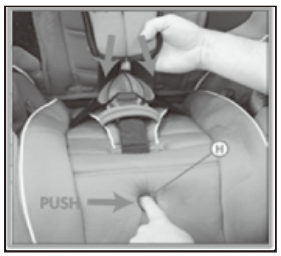
【右に回すと上に上がり・左に回すと下に下がります。】

※肩ベルトの高さがお子様の肩と同じ高さになっているか確認してください。

②肩ベルトの高さ調節ができましたら調節ストラップを引っ張りお子様を拘束します。

補足

お子様の鎖骨と肩ベルトの指一本入るていどが肩ベルトの調節目安です。



③調節ストラップを引きすぎた場合は、H の PRESS を押し肩ベルトを左右に引いてください。

セット後の確認

①子供用肩ベルトが左右肩にかかっていること
②腰ベルトで骨盤がしっかり拘束されていること

ジュニアシート グループⅡ（適用体重 15～25kg）の使い方

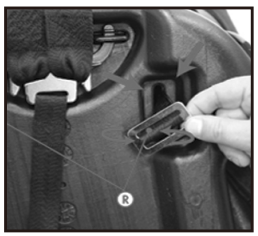
部品の取り外し方

⚠注意 装置より子供用ベルト、バックルを外してご使用下さい。

ベルトの外し方

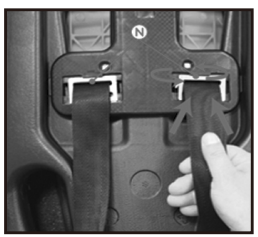
①ベルト連結金具の隙間からベルトを抜きます。

注）取り付ける場合は、ベルトを差し込んだ後ベルトの端が図②の連結金具の写真のように返しの内にセットされていることを確認してください。



②座底面のベルト固定金具をネジリ縦向きにし座底の穴に差込みます。

③座底の穴から出てきたベルトの固定金具を引き抜きます。



④肩ベルトを本体から外します。

⑤肩ベルトパッド止め金具の金具をドライバーなどで浮かせ横からスライドさせ引き出します。
本体から外れましたら金具を縦向きにし背の穴に差込み抜き取ります。
外した部品は無くさない様に保管して下さい。

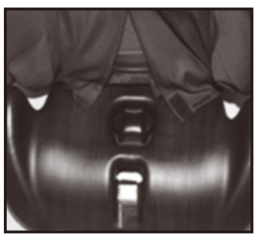
ジュニアシート グループⅡ（適用体重 15～25kg）の使い方

部品の取り外し方

⚠注意 装置より子供用ベルト、バックルを外してご使用下さい。

バックル＆調節ストラップの収納

①装置のバックルをバックルカバーから下に引き抜きます。



②座カバーの底面のマジックファスナーをオス・メスを外しカバーをめくり上げ①で引き抜いたバックルを座のへこみの部分に収納します。

③ベルト連結金具を引き出し収納できるようにベルト連結金具に調節ストラップを巻付けコンパクトにし座裏のへこみに収納します。

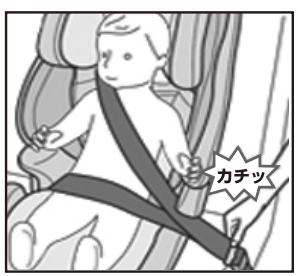
④収納が完了しましたら座カバーを掛けマジックファスナーで止めます。

ジュニアシート グループⅡ（適用体重15～25kg）の使い方

取付＆装着

①ジュニアシートを車のシートに置きぐらつきなく安定していることを確認してください。
ジュニアシート背裏と車のシート背もたれの間に大きな隙間ができないようにセットしてください。

②車のタングとバックルをいったん外しお子様を深く座らせ車のシートベルトが肩にかかるように通します。



③腰の位置のベルトが左右の装置取付フックに、しっかり掛り腰骨の低い位置に掛るようタングとバックルをセットします。
バックルが、「**カチッ**」と音がするまで差し込みます。

ジュニアシート グループⅡ（適用体重15～25kg）の使い方

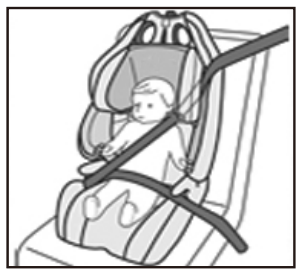
取付＆装着

④タングとバックルのセットができましたら腰のベルトが緩んでいないよう肩ベルトを引っ張り確実に装着してください。

⚠注意

その際お子様の腕をベルトで挟まない様シートベルトの上になるようにしてください。

装着後の確認



装着ができましたら、再度下記の内容を確認してください。

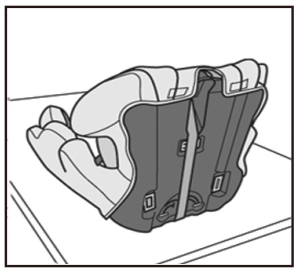
①シートベルトにねじれがなくお子様にフィットして腰ベルトが取り付けフックに掛り腰骨の低い位置であること。

②肩ベルトがお子様の首にかかっていないこと。

③車のシートベルトのタングとバックルが確実にセットされていること。

ブースターシート グループⅢ（適用体重 22～36kg）の使い方

座から背を外す



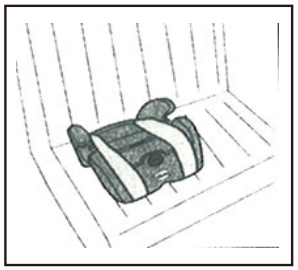
①装置座底面の連結ストッパーが操作できるよう倒します。

②連結ストッパーを矢印の方向に回し背と座を止めている連結ストッパーを解除します。
固く止まっていますので、座を背の方に強く押し付けストッパーをゆるめ回転させてください。

③連結ストッパーが解除できましたら背を座から外します。

ブースターシート グループⅢ（適用体重 22～36kg）の使い方

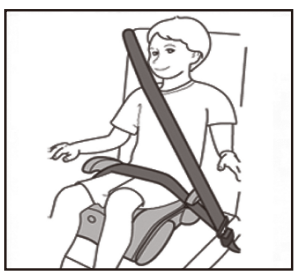
取付＆装着



①ブースターシートを車のシートに置きぐらつきがなく安定している事を確認して下さい。
車の座席の背もたれがリクライニングのできる場合は、立てた状態で使用して下さい。
倒した状態で使用しますと衝突時にシートベルトの下からすり抜け危険です。
※安定しない場合は装着出来ません。

②タングとバックルをいったん外しお子様を深く座らせます。腰ベルトは左右の取付フックにかかりお子様の腰骨の低い位置で肩ベルトは肩に当たるようタングとバックルをセットして下さい。バックルが「**カチッ**」と音がするまで差込んで下さい。お子様にベルトがフィットするよう肩ベルトを引っ張り上げて下さい。
※肩ベルトは首にかからないよう注意して下さい。

装着後の確認



①車両のヘッドレストが取り付けられシートから頭が出ていないこと
②シートベルトにねじれがなくお子様にフィットして腰ベルトが取付フックに引っかかり腰骨の低い位置であること
③車両のタングとバックルが確実にセットされていること